

第二章 良好な住環境を支える生活基盤の整備

第一節 公園・緑地の整備・充実		主たる担当課
公園の整備・充実と適切な維持管理	62101	公園緑地課
市民の自主的な活動への支援	62102	公園緑地課
第二節 下水道整備の推進		
下水道施設の整備と維持管理	62201	下水道課
下水道事業の健全経営の確保	62202	下水道課
第三節 上水道の安定供給		
安全な水の安定供給と環境負荷低減に向けた取り組み	62301	工務課
経営基盤の強化と利用者サービスの充実	62302	経営課
第四節 都市排水施設の整備・充実		
計画的な雨水排水施設等の整備と維持管理	62401	治水課
雨水貯留タンク・浸透施設の普及促進	62402	治水課

第一節

公園・緑地の整備・充実

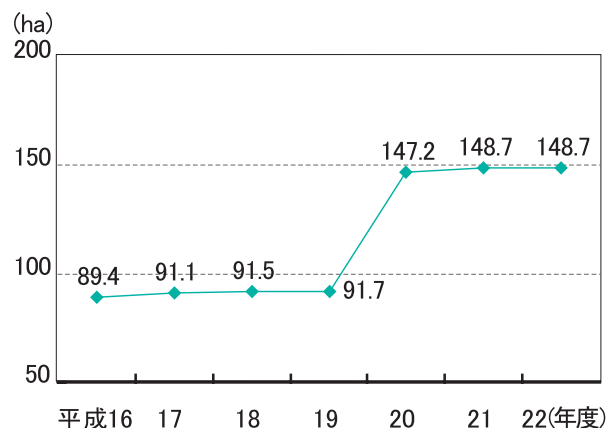


現状と課題

- 公園や緑地は、私たちの生活にうるおいやすらぎを与えてくれるとともに、災害時には避難場所としての機能も有する大切な空間です。我孫子市における都市公園の整備状況は、平成21年度末で市民一人当たり10.9㎡となっており、千葉県6.5㎡を上回っているものの、市街地内に限ってみると、4.2㎡と低い水準になっています。
- 市では、緑の基本計画に掲げる「緑を守る・つくる・育てる・市民参加を進める」という基本方針に基づき、市街地における適正な配置と地域の自然や文化・歴史といった資源を活用した公園・緑地の整備に取り組んできました。広大な利根川河川敷内には、自然観察、スポーツ、ファミリーレクリエーション、自然緑地の4つのゾーンを備えた利根川ゆうゆう公園を整備したほか、古利根公園や气象台記念公園など自然をいかした公園づくりを進めてきました。また、手賀沼公園・手賀沼遊歩道の再整備や、「かたらいベンチ制度」の創設、公園のバリアフリー化などに取り組んできました。さらに、地域の主要な公園に若者向けのストリートバスケットコートを設置したり、高齢者の運動機能の維持・回復のためにうんどう遊具を整備するなど、市民がより愛着や親しみを持って利用してもらえるよう取り組んでいます。

- 地域住民による自主的な活動を支援する市民手づくり公園事業には、現在10団体が参加し、12箇所の公園で花壇づくりなどの活動が行われています。また、古利根公園自然観察の森や中里市民の森では、みどりのボランティアによる竹の間伐や下草刈りなどの作業が行われているほか、根戸地区の市民開放型保存緑地でも、地域住民による維持管理活動が行われるなど、市民による自主的な活動が広がりはじめています。
- 今後も緑の基本計画に基づき、環境保全、防災、景観形成、レクリエーションなどの機能に配慮し、市内に残る豊かな樹林地や城跡、古墳などの文化・歴史資源を活用しながら、地域ごとに適正な配置となるよう整備していく必要があります。また、誰もが安心して利用できるよう、バリアフリー化や計画的な補修も必要です。さらに、市民により身近で親しみやすい公園となるよう、公園づくりや公園管理における市民の自主的な活動を広げていくことも必要です。

■公園・緑地の面積



施策の展開

○公園の整備・充実と適切な維持管理

62101

公園・緑地が持つ機能に配慮し、市内に残る豊かな樹林地や城跡、古墳などの文化・歴史資源を活用しながら、地域ごとに適正な配置となるよう整備を進めます。また、誰もが安心して利用できるよう公園のバリアフリー化を進めるとともに、老朽化した公園施設の計画的な補修など適切な維持管理に努めます。

○市民の自主的な活動への支援

62102

より身近で親しみやすい公園とするため、地域住民の主体的な公園づくり活動を支援するとともに、公園管理における市民の自主的な活動を広げていきます。

目標・指標

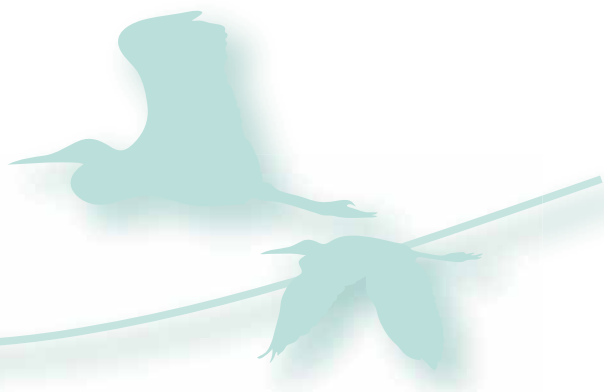
目標

- 公園・緑地の機能と配置に配慮した整備がされている。 62101
- 市民による公園づくりや自主的な管理が広がっている。 62102

指標

指標名 (指標の説明など)		現況値	目標値
		平成22年度	平成27年度
「公園・緑地の整備・充実」施策に対する市民満足度 (市民アンケートで「満足」・「やや満足」と回答した人の割合)	62101	48.6% (23年度)	55%
公園の数	62101	211箇所	218箇所
公園・緑地の面積	62101	148.7ha	155ha
市民手づくり公園の活動団体数	62102	10団体	15団体
市民手づくり公園の数	62102	12箇所	17箇所

第二節 下水道整備の推進



現状と課題

- 公共下水道は、衛生的で快適な生活環境の形成に必要な基盤施設であるとともに、手賀沼や古利根沼など公共水域の水質を保全するための重要な施設です。市では、これまで、手賀沼流域関連公共下水道を中心に整備を進め、平成22年度末現在、全体計画面積2,334haに対して、1,251haの整備が完了し、整備率は53.6%となっています。また、供用開始区域内の処理人口は109,831人で、下水道の普及率は81.4%、実際に下水道に接続している人口は107,442人で、水洗化率は97.8%となっています。
- 今後も、効率的で効果的な下水道整備を図るため、当面は市街化区域内の下水道整備を計画的に進めていく必要があります。また、老朽化した既存施設の改修や汚水マンホールからの汚水の噴出防止など、適切な維持管理を進めていくことも必要です。さらに、下水道事業の健全経営を確保するため、下水道の未接続世帯に対する接続工事にかかる費用の融資あっせん・利子補給制度の活用などのPRを行って、水洗化率を高めるとともに、下水道使用料や受益者負担金の未納者への督促を強化し、増収を図る必要があります。

■下水道普及率

		平成16年度	17	18	19	20	21	22
全体計画面積(ha)	A	2,328	2,328	2,328	2,328	2,328	2,328	2,334
整備済み面積(ha)	B	1,171	1,193	1,207	1,216	1,227	1,237	1,251
整備率(%)	B/A	50.3	51.3	51.8	52.2	52.7	53.1	53.6
行政人口(人)	C	131,592	131,838	133,541	134,552	134,982	134,986	134,911
供用開始区域内の処理人口(人)	D	99,068	101,057	103,995	105,236	106,367	108,334	109,831
普及率(%)	D/C	75.3	76.7	77.9	78.2	78.8	80.3	81.4

施策の展開

○下水道施設の整備と維持管理

62201

衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、老朽化した既存施設の改修や汚水マンホールからの汚水の噴出防止など、既存の下水道施設の適切な維持管理を進めます。

○下水道事業の健全経営の確保

62202

下水道事業の健全経営を確保するため、未接続世帯への働きかけにより水洗化率を高めるとともに、下水道使用料や受益者負担金の未納者への督促を強化し、増収に努めます。

目標・指標

目標

○市街化区域内の下水道整備が進んでいる。

62201

○下水道事業が健全に経営されている。

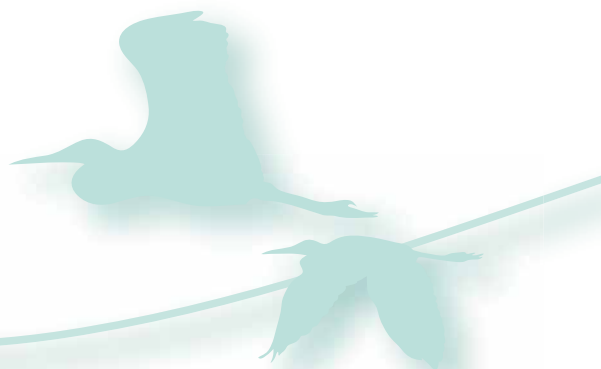
62202

指標

指標名 (指標の説明など)		現況値	目標値
		平成22年度	平成27年度
下水道の整備率 (下水道の整備済み区域の面積/ 下水道の計画区域の面積)	62201	53.6%	55%
下水道の普及率 (下水道の整備済区域内人口/ 住民基本台帳人口)	62201	81.4%	83%
水洗化率 (下水道への接続人口/ 下水道の整備済区域内人口)	62202	97.8%	99%
下水道使用料の徴収率(納付額/請求額)	62202	98.5%	100%
受益者負担金の徴収率(納付額/賦課額)	62202	93.3%	95%

第三節

上水道の安定供給



現状と課題

- 市水道局では、平成22年度末現在、地下水（認可水量：19,600m³/日）と利根川水系江戸川を水源としている北千葉広域水道企業団から水道用水（基本水量：32,900m³/日）を受水して、水道水を確保しています。また、平成22年度末現在、水道普及率は94.3%、給水人口は128,862人となっており、給水人口は近年微増の状況です。しかし、一人一日平均給水量は、平成8年度をピークに減少傾向にあり、平成22年度末では、ピーク時に比べ12%減少し281ℓとなっています。
- また、平成23年3月11日の東日本大震災により、管路が破損し、漏水や断水が多数発生したため、断水箇所の多い布佐・若松などの地区には、ペットボトルの配布や応急給水を行いました。さらに、原発事故による放射性汚染に伴い、企業団の水道水から放射性物質が検出されたため、我孫子・天王台地区の0歳児を対象に水道水の摂取制限を実施するとともに、ペットボトルの配布や応急給水を行いました。また、これまで、放射性物質の検査を、企業団では毎日、市水道局では定期的実施し、安全を確認してきました。
- これまで、市水道局では、水道事業中期計画（平成19年度～平成30年度）に基づき、「安全で快適な水を供給できる水道」、「将来にわたり安定して供給できる水道」、「環境に配慮した水道」、「お客さまに信頼される水道」の4つの施策目標の実現に向けて、水質管理の充実、高度浄水処理施設の効率的運用、鉛給水管の解消、直結・直圧給水の普及促進、水道未普及地区の解消、地下水の適正利用と企業団からの浄水受水、施設の耐震化と水運用機能の強化、緊急給水・復旧体制の整備、取水施設（深井戸）の保全、浄水場施設の更新、管路の更新、資源消費の節約と環境負荷の低減、水需要動向を踏まえた料金体系の構築、事業運営の効率化による諸経費の縮減化、親しまれる窓口サービスの提供などの施策に取り組んできました。
- 今後も、安全な水を安定的に供給していくため、水質管理の充実や高度浄水処理施設の効率的な運用、放射性物質の検査、水源の安定確保、耐震診断結果に基づく浄水場施設の計画的な耐震化の実施、より耐震性に優れた管種による老朽管更新工事などに取り組んでいくとともに、環境への負荷を低減するため、水運用システムなどの効率化を進め、省電力化に取り組む必要があります。また、引き続き放射性物質の検査を行うとともに、原発事故などの非常事態に、より迅速な対応が図れるよう、応急給水体制をさらに強化する必要があります。さらに、給水量の減少に伴う給水収益などの減少による事業収益の低下に対応するため、今後も包括業務委託の拡充などお客様センターの窓口サービスの機能拡充、経営状況などの情報公開を進め、経営基盤の強化と利用者サービスの充実を図る必要があります。

■上水道普及状況

		平成16年度	17	18	19	20	21	22
給水区域内人口(人)	A	131,853	131,549	134,903	135,993	136,551	136,629	136,600
給水人口(人)	B	125,010	125,902	126,620	128,221	128,773	128,851	128,862
給水戸数(戸)	C	47,459	47,917	48,581	50,084	50,872	51,288	51,773
普及率(%)	B/A	94.8	95.7	93.9	94.3	94.3	94.3	94.3
給水量(千m ³ /年)	D	13,443	13,305	13,263	13,166	13,045	13,137	13,205
有効水量(千m ³ /年)	E	12,545	12,520	12,544	12,714	12,677	12,682	12,787
一日最大給水量(m ³ /日)	F	42,000	41,863	42,449	40,761	40,803	40,744	41,226
一人一日平均給水量(ℓ)	G	295	290	287	281	278	279	281

※G=D/年間日数/B

施策の展開

○安全な水の安定供給と環境負荷低減に向けた取り組み 62301

安全な水を安定的に供給するため、水質管理の充実や高度処理施設の効率的な運用、放射性物質の検査を行うとともに、水源の安定確保や施設の耐震化などの整備を進めます。また、災害時等における応急給水体制を強化するとともに、環境に配慮し、水道システムの効率化を進め、エネルギーの省力化を図ります。

○経営基盤の強化と利用者サービスの充実 62302

水道経営の健全化のため、包括業務委託の拡充などにより、経営基盤の強化を図ります。また、お客様センターの窓口サービスの機能拡充や経営状況などの情報公開を進め、利用者サービスの充実を図ります。

目標・指標

目標

- 安全な水が安定して供給されている。 62301
- 水道局の経営基盤が強化されている。 62302

指標

指 標 名 (指標の説明など)		現況値	目標値
		平成 22 年度	平成 27 年度
「上水道の安定供給」施策に対する 市民満足度 (市民アンケートで「満足」・「やや満足」と 回答した人の割合)	62301	57.4% (23年度)	60%
水道普及率(給水人口/給水区域内人口)	62301	94.3%	95%
有収率(収入となった水量の割合)	62301	96.7%	97%
有効率(有効に使用した水量の割合)	62301	96.8%	97%
総収支比率(総収益/総費用)	62302	103%	103%

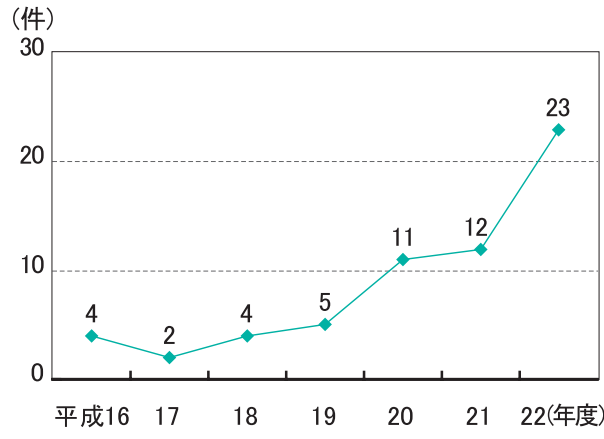
第四節 都市排水施設の整備・充実



現状と課題

- 我孫子市には、急激な都市化や近年の地球温暖化による突発的で局所的な集中豪雨などにより、低地部では常襲的な浸水被害に悩まされている地区があります。市では、浸水危険度の大きな地区から、幹線排水路やポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修などを重点的に行ってきたおり、浸水被害箇所は減少傾向を示しています。また、開発行為などにおいて浸透ます、浸透トレンチなどの雨水浸透施設や調整池の設置を義務づけるとともに、個人住宅における雨水貯留タンク設置への助成を行い、その普及に努めています。
- 今後も、常襲的な浸水被害発生地区の解消や生活環境の改善を図るため、計画的な雨水排水施設や雨水流出抑制施設の整備を進めるとともに、既存施設の適切な維持管理を行うことが必要です。また、市街地での保水機能を強化するため、個人住宅への雨水浸透施設や雨水貯留タンクの普及促進が求められています。

■雨水貯留タンク設置補助件数



施策の展開

○計画的な雨水排水施設等の整備と維持管理

62401

市街地での浸水被害の発生を防止するため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの雨水排水施設や、調整池などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。

○雨水貯留タンク・浸透施設の普及促進

62402

市街地での浸水被害の緩和を図るため、住宅などの敷地内における雨水貯留タンクの設置を支援するとともに、浸透ますや浸透トレンチなどの雨水浸透施設の普及促進を図ります。

目標・指標

目標

- 常襲的な浸水被害発生地区の浸水被害が軽減されている。 62401
- 市街地での浸水被害が緩和されている。 62402

指標

指標名 (指標の説明など)		現況値	目標値
		平成22年度	平成27年度
主な排水施設未整備地区(平成19年度時点で9地区)の累計整備完了数	62401	1地区	3地区
雨水浸透施設の年間設置率 (雨水浸透施設設置届け出件数/住宅新築件数。なお、設置の届け出は、平成23年4月から要綱で求めるようになったことから、現況値は不明)	62402	—	100%
雨水貯留タンク設置補助累計件数	62402	61件	600件